

【介護老人保健施設の理念と役割】

介護老人保健施設は、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上を目指し総合的に援助します。また、家族や地域の人びと・機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。

1. 包括的ケアサービス施設

利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームで支援します。そのため、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供します。

2. リハビリテーション施設

体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など生活機能向上を目的に、集中的な維持期リハビリテーションを行います。

3. 在宅復帰施設

脳卒中、廃用症候群、認知症等による個々の状態像に応じて、多職種からなるチームケアを行い、早期の在宅復帰に努めます。

4. 在宅生活支援施設

自立した在宅生活が継続できるよう、介護予防に努め、入所や通所・訪問リハビリテーションなどのサービスを提供すると共に、他サービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減に努めます。

5. 地域に根ざした施設

家族や地域住民と交流し情報提供を行い、様々なケアの相談に対応します。市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担います。また、評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上に努めます。

3階 介護 佐藤 誠浩

2月4日に1日遅くなりましたが、節分の豆まきを行いました。当日は鬼に扮した職員が、赤・黄・青3色のお面をかぶり各階を回りました。

利用者の皆様は、「鬼は外、福は内」と元気な掛け声と共に沢山の豆をまき、一生懸命鬼を追い払っていました。豆まきの後はまいた豆を食べて厄を払い、今年一年の無病息災を祈りました。



1階 歯科衛生士 河村 瑞恵

「口は健康の入り口」と言われています。

口を健康に保つことが、全身の健康を保つことにつながります。しかし身体の異変に比べ、口の中のトラブルは放置されることが多いように感じます。虫歯の放置や合わない入れ歯を使用することで、咬む機能や飲み込む機能が低下し食べづらくなります。そして食が細くなることにより、体力や免疫力が低下してしまいます。

歯周病の治療や入れ歯の手入れを行い口の中を清潔に保つことで、美味しく食事をし、会話を楽しみ、元気に過ごすことができます。そして全身の健康維持にもつながっていきます。その為にも、口の中の変化に気付き、しっかりと対応していくことが大切です。



2階 看護 工藤 かよ子

3月に入り、厳しい冬の寒さは終わりを告げようとしています。朝夕はまだ寒い日もありますが、日中の気温は上がり暑い日差しに汗ばむ日が増えてきました。

全国的に流行し、猛威を奮ったインフルエンザは落ち着きつつあります。幸いにも当施設では罹患された利用者の方はおらず、皆様元気にこの冬を乗りきることが出来そ

うです。しかしながら、この時期は予防接種の効果が切れてくるため、まだまだ油断は禁物です。引き続き利用者の皆様には、室内の温度や湿度の調節を行いながら体調管理に努め、快適な療養生活を送っていただけるよう支援していきたいと思っております。

ご家族の皆様におかれましても、体調を崩されることのないよう自愛下さい。



相談室 佐藤 友美

当施設では、年度初めに家族構成・緊急時の連絡先を確認させていただいております。同封の用紙に家族構成・緊急時の連絡先をご記入の上、3月31日(日)迄、窓口までご提出下さい。

また、ご家族の状況に変化がございましたら、その都度ご連絡下さい。ご協力よろしくお願い致します。



特定医療法人荘和会のホームページが開設されております。介護老人保健施設「しょうわ」の情報以外にも、菅原病院や障害者自立支援センター「和」の情報、各広報誌などが掲載されています。是非ご覧下さい。

[【https://showa-kai.or.jp/】](https://showa-kai.or.jp/)



【お知らせ】

インフルエンザの流行に伴い、感染予防のため1月17日より面会を中止させていただいております。

利用者皆様の体調や近況については、お気軽に各階の職員へお尋ね下さい。

今後、面会制限の緩和等につきましては、随時お知らせ致します。ご家族の皆様には、ご不便をおかけしておりますがご協力をお願いします。

(お問い合わせ TEL. 0184-23-7100)